

事業所名

SPORTS LABO DAYS 武蔵小金井PARK

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人理念		” スポーツを通じて未来をかえる ”							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん「できた」から、自信につなげ笑顔あふれる場所へ。 ・社会的な自立に向けて「いき抜く力」の土台を育みます。 ・自ら探索することの困難な子どもたちに対し、個々に合わせたトレーニングや遊び、SSTを通して、様々な姿勢をとらせたり、からだを動かしたりすることでコミュニケーションや認知、運動動作の発達を感覚統合をベースとした運動療育により支援します。 ・「感覚入力調整」、「抗重力姿勢の保持・姿勢反応の発達を促す」、「運動企画・両側統合・シーケンスの発達を促す」、「視空間認知、聴覚一言語能力の発達を促す」、「健全な自我と社会性の発達を促す」 							
営業時間		平日	13 時	00 分から	19 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜日	10 時	00 分から	17 時	00 分まで			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	あそびや運動は身体的な健康を促し、筋力や持久力、操作性、柔軟性を向上させるだけでなく、心理的な面において良い効果をもたらします。運動を通して得られる「できた」という成功体験や成果は自己効力感を高め、自己肯定感や自信（自己有能感）を養います。その自己肯定感や自信は、日常生活においても良い効果をもたらします。また、あそびや運動はストレスや不安を軽減し、メンタルヘルスにおいても良い効果をもたらし、充実した日常生活を送るための土台を育みます。							
	運動・感覚	すべての項目の基礎。あそびや運動を通して、前庭感覚、固有感覚、触覚、視覚、聴覚などの感覚統合を行います。これにより、自身の身体や周囲の環境との関係をより良く理解し、より意欲的に活動に参加できるようになります。感覚が統合（組織化）されたことにより、そこで得た成功体験や自信は、日常生活の活動や社会的な場においても同様の良い効果をもたらします。							
	認知・行動	感覚統合をベースとした遊びや運動は脳の発達を促し、認知や注意・集中力を向上させることにつながります。また、その場、その状況に合わせた適応行動の獲得にもつながります。感覚調整を行うことで、脳の目覚めの状態である覚醒・注意・怒りや不安といった情動・多動や衝動性といった行動をコントロールできることにつながります。							
	言語コミュニケーション	あそびや運動を通して、大人（個）とのやり取りや、グループ活動を経て、コミュニケーションに必要な基本的なスキルの獲得を促進します。例：自身の意思や気持ちを言語化することで、相手に伝わりコミュニケーションの基礎を獲得します。そこから様々なやり取りを経て、あそびや運動を他児童と共有することでコミュニケーション力を育みます。また、運動は自己表現の手段として機能し、言語理解や表現力の向上につながり、より効果的にコミュニケーションをとることにつながります。							
	人間関係社会性	あそびや運動は人間関係と社会性を発展させる重要な手段です。あそびや運動を通して、大人や他児童と触れ合う機会を得て、自己主張や協調性を育み、他者との友情や信頼関係を築くことにつながり、良好なコミュニケーション力の獲得、社会参画への基盤となります。							
家族支援		・毎回、療育提供時に面談や見学を行い、活動の様子や指導員との関りをみていただいたり、日常生活や園・学校での様子をお聞きし、助言（ペアレントトレーニング等）や課題を次回以降の療育活動に取り入れます。			移行支援		・主に、幼稚園や保育園から小学校へ進級する際は、保護者からのニーズによって、社会資源の情報提供、障害福祉サービス事業所（相談支援事業所等）や小学校との連携、相談等を適宜実施します。		
地域支援・地域連携		・該当市に關係する団体（支援センターなど）にパンフレット等を配布し、施設からのご要望やニーズのある方々からのお問い合わせ、お受け入れする体制を整えている。			職員の質の向上		・日本感覚統合学会主催の研修。・近隣自治体主催による研修。障害福祉関連の研修。・虐待防止、身体拘束、権利擁護に関する研修（全職員）。		
主な行事等		・毎月1～2回程度季節に応じたイベントやテーマに沿ったイベントを実施します。 (2024年度実施実績：「日本を知ろう」各地方に準じた内容のもの、ウォーターサバイバル、サッカー、ハロウィン、クリスマス、お正月、バレンタイン等)							